

使用レジストレーションメニュー

1 -02-02:SR スtringス 2

プリセット Preset

	ボイスディスプレイ ◀1▶	ボイスディスプレイ ▶2▶	リズム	フットスイッチ(左)	
	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : フェン"-Str1 <input checked="" type="checkbox"/> ON リード1 : アルト 5 <input type="checkbox"/> OFF 下鍵盤1 : Strs2&スト 1 <input checked="" type="checkbox"/> ON ペダル1 : コントラス 4 <input checked="" type="checkbox"/> ON	ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : スtringス1&6 <input type="checkbox"/> OFF リード2 : ギター 4 <input checked="" type="checkbox"/> ON 下鍵盤2 : トレッド 5 <input type="checkbox"/> OFF ペダル2 : コントラス 2 <input type="checkbox"/> OFF	ホップス 01:シンプル 8ビート メイン/フィルイン A(点灯)	OFF	テンポ = 120

レジスト作成 Making Registration

※リズムは発音しません。アカンパニメントのみ発音させます。

◻ = 変更なし

	ボイスディスプレイ ◀1▶	ボイスディスプレイ ▶2▶	リズム		
M1	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : フェン"-Str1 <input checked="" type="checkbox"/> ON リード1 : アルト 5 <input type="checkbox"/> OFF 下鍵盤1 : Strs2&スト 1 <input type="checkbox"/> OFF ペダル1 : ピッチBa 1 <input checked="" type="checkbox"/> ON		マーチボタン 24:ストリングスコン チェルト※に変更 C(点灯)	Let's Try! ①② アカンパニメントの設定 Let's Try! ③ ローメモリを ON	テンポ=84 に変更 ペダル1 : 07:ピチカ ートベース1に変更
M2	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : フェン"-Str1 <input checked="" type="checkbox"/> ON リード1 : アルト 5 <input type="checkbox"/> OFF 下鍵盤1 : Strs2&スト 1 <input checked="" type="checkbox"/> ON ペダル1 : ピッチBa 1 <input checked="" type="checkbox"/> ON	ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : スtringス1&6 <input type="checkbox"/> OFF リード2 : ギター 4 <input checked="" type="checkbox"/> ON 下鍵盤2 : トレッド 5 <input type="checkbox"/> OFF ペダル2 : コントラス 6 <input checked="" type="checkbox"/> ON	B(点灯)	アカンパニメント: コード 1.2 を OFF	ペダル 2 : ユーザー ボタン ON <input type="checkbox"/>
M3				アカンパニメント: 全て ON フットスイッチ(左) リズム/エンディング 1	

Let's Try! ① ② “アカンパニメント”の設定

アカンパニメントは、リズムに連動して発音する多彩な伴奏のパターンが得られる機能です。コード 1,コード 2,パッド,フレーズ 1,フレーズ 2の5つのパートで構成されていて、それぞれのパートをオン/オフさせることができます。

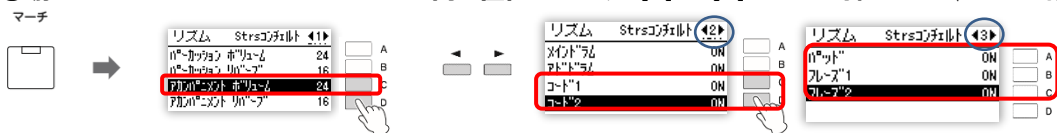
① ボリュームを変更する。(24 に変更する)

手順 ①パネルのリズムボタンを押す。 ② [C] ボタンまたはデータコントロールダイヤルで 24 に変更。

② パートの ON/OFF を設定する。(全て ON にする)

手順 ①パネルのリズムボタンを押す。 ② [ページ] ボタンで [ページ 2] または [ページ 3] へ

③鳴らしたいアカンパニメントのパートと同じ位置にある、[A] ~ [D] ボタンを押して ON/OFF を設定。

**Let's Try! ③ “ローメモリ”を設定**

オンにすると、リズムが鳴っている間は、下鍵盤から指をはなしても下鍵盤の音が鳴り続けます。

手順 ①パネルの [A.B.C/M.O.C] ボタンを押す。 ② [B] ボタンでローメモリを ON にする。

アレンジのジャンル : チェンバー(小編成ストリングス)のクラシックアレンジです。リズムは発音しないパターン(マーチ:24 ストリングスコンチェルト)を使用し、アカンパニメントのみによるチェンバー伴奏を楽しみながら演奏できるアレンジです。M2 では、コード 1.2 の弦の刻みを OFF にし、フレーズ 1.2 の流れるようなフレーズのみになります。

演奏上のポイント : アカンパニメントの発音が濁らないよう、コードチェンジを留意してください。

全体を通して、アカンパニメントのフレーズを良く聴きながら、メロディーのフレーズをうたい、丁寧に演奏しましょう。

M1の LK はアカンパニメントのみ発音するレジストですので、練習時には下鍵盤 1 を ON にするとよいでしょう。

大木裕一郎